

▲交通事故防止の説明を真剣に聞きいる園児たち

交通安全教室から

恐ろしい交通事故を撲滅

朝、元気に出かけていった家族が交通事故に遭う、こんな恐ろしいことはありません。交通事故撲滅のため、運転する人も歩行者も交通ルールを守ることが大切です。

秋の全国交通安全運動期間中に開かれた、交通安全教室のダミー実験などを通して交通事故の恐ろしさを紹介します。

あなたの家庭でも事故に注意するよう話し合ってみませんか。

9月中の交通事故179件

秋の交通安全運動が行われた期間中(10日間)にも残念ながら、市内で交通事故が55件発生しました。

そのうち、人身事故が33件、物損事故が22件発生し、1人が死亡、39人がけがをしました。

9月1ヵ月間で見ると人身事故が103件、物損事故が76件も発生し、事故原因では、ドライバー自身の安全運転義務違反や信号無視などが多くなっていました。

また、オートバイや原付バイクなどのいわゆる二輪車の事故が多発し、9月中の人身事故の60.1%を占めるなど事故撲滅の大きな妨げになっています。

見込み横断は危険

横断歩道を渡るとき、あなたは車が止まってくれるのを確認してから渡りますか、それとも「多分止まるだろう。」と思って渡りますか。

もし、後者の渡り方だったらそれは大変危険です。

横断歩道はあくまでも道路の一部。信号のない横断歩道ではドライバーが歩行者に気づかなければ車は止まらないのです。

ですから、歩行者は、「横断歩道だから車は絶対に止まるだろう。」という気持ちは捨ててください。

特に子供に、「ドライバーの目を見て、車が止まってから渡る」よう教えましょう。

▼飛び出しはこんな事故につながります



▼見るも無残な乗用車



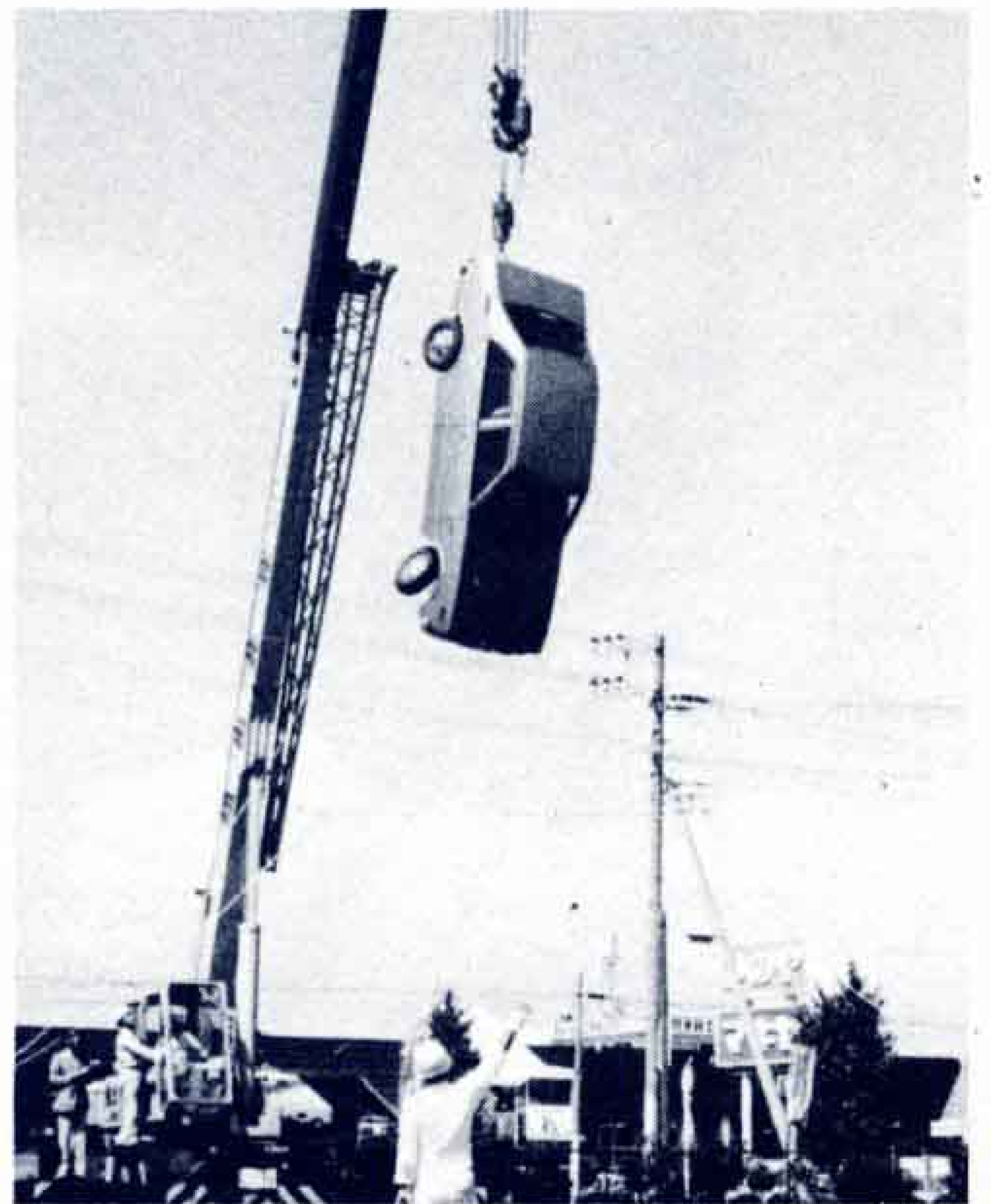
ダミー実験などにただア然



▲大型車の左側はこわい

交通安全教室の会場には、市民や近くの幼稚園児など1,000人余が参加。ひとつひとつの実験に目をこらしていましたが、マネキン人形やダミーが車にはねられ、また、乗用車が目の前でメチャメチャになるシーンにびっくりしていました。

予想以上の事故の衝撃、恐ろしさに園児も大人も交通安全ルールを守ることの大切さを感じとっていたようでした。



▲高さ20メートル(時速70km相当)からの落下衝撃実験

カーブミラー 20基寄贈される

日産静岡会は、秋の交通安全運動に協賛して、9月25日、市にカーブミラー60センチ径シングル8基、同80センチ径シングル12基、計20基を寄贈してくれました。

静岡会は、交通事故防止、撲滅を願って、毎年交通指導車やカーブミラーを贈り続け、今回の寄贈でカーブミラーは114基になりました。

市は、さっそく寄贈されたカーブミラーを天間や伝法、大淵、松本地先などの交差点に取り付けました。

